

JAグループ広島 営農通信

2020年

夏号

全農提供ラジオ番組のご紹介

TODAY'S AGRI NEWS

EVERY Mon-Fri AM 6:30-6:35

https://www.tfm.co.jp/agrinews/

●放送日：毎週月曜～金曜日 6:30～6:35
(広島FM)●パーソナリティ：月～木 鈴村健一さん
金 山崎樹範さんニッポンの未来を元気にする
「農業応援プログラム」

あぐりずむ

TOKYO FM JFN



https://www.tfm.co.jp/agrizm/

●放送日：毎週月曜～木曜日 6:15～6:25
(広島FM)

●パーソナリティ：川瀬良子さん

ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN

https://www.tfm.co.jp/cdj/

●放送日：毎週土曜日 13:00～13:55生放送
(広島FM)●パーソナリティ：ジョージ・ウィリアムズさん
安田レイさん

～全国FM38局で放送中～

 JAグループ広島

JA全農ひろしまホームページ



https://www.jazhr.jp

 JA全農ひろしま


チャレンジファーム広島・上下農場での
アスパラガス定植作業の様子
(写真左端：研修生 林さん、中央：府中市 小野市長)

◆ 米穀情報

- ①米の需給動向
- ②令和2年産米の作付意向
- ③主食用米の需要に応じた生産・販売の取り組み

◆ 3-Rの取り組みについて

◆ 園芸情報

- ①ほうれんそうの生産振興に向けた取り組み
- ②青果物の販売経過および情勢

◆ 営農支援情報

- ①ICT技術を利用した鳥獣害対策
- ②チャレンジファーム広島
- ③営農支援課の新設

◆ 肥料・農薬情報

- ①水稻の高温障害対策
- ②良質米栽培に向けた本田防除

◆ 農業機械情報

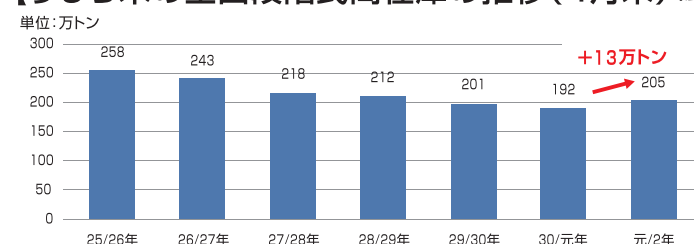
- ①共同購入トラクタの取り組み
- ②特定農機具傷害共済(ケアフル)の取り組み
- ③熱中症対策

米穀情報

① 米の需給動向

農林水産省が公表した4月末時点の全国段階のうるち米民間在庫は、205万トンで前年同月と比べ+13万トンとなりました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等により、家庭向けの需要が拡大したものの、中食・外食向けの減少幅が大きく、販売全体では4月単月で前年同月比94.0%に留まったこと等が要因となっています。

【うるち米の全国段階民間在庫の推移(4月末)】(農林水産省の資料を基に全農が作成)



【全国の米販売事業者における販売数量の動向(前年同月比)】(農林水産省の資料を基に全農が作成)

	元年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月
小売事業者向け	94.4%	98.7%	96.3%	100.6%	96.5%	98.9%	98.8%	101.0%	109.8%	123.7%	109.6%
中食・外食事業者等向け	104.1%	99.8%	100.0%	97.3%	98.1%	95.2%	97.2%	98.4%	99.3%	88.5%	74.9%
販売数量計	98.7%	99.2%	98.0%	99.1%	97.2%	97.1%	98.0%	99.7%	104.9%	107.5%	94.0%

② 令和2年産米の作付意向

農林水産省は、令和2年産における各都道府県の主食用米、戦略作物等の作付意向(4月末現在)を取りまとめました。

主食用米は、令和元年産実績との比較で、前年並み傾向が35県、減少傾向が12県と、東日本を中心に前年並みの県が全体の7割超を占める一方、戦略作物は減少傾向が目立ち、特に飼料用米では、減少傾向が前回公表(2月末現在)の10県から20県に増加しています。

なお、広島県では、主食用米等は前年並み傾向、加工用米は増加傾向、飼料用米は減少傾向となっています。

【令和2年産米等の作付意向(令和2年4月末現在)】(農林水産省の資料を基に全農が作成)

傾向	主食用米	備蓄米	加工用米	飼料用米	米粉用米
前年より増加傾向	0県	16県	18県	10県	21県
前年並み傾向	35県	7県	9県	15県	9県
前年より減少傾向	12県	10県	17県	20県	16県

需要に応じた米の生産に向け、主食用米とあわせて水田活用米穀の取り組み拡大をご検討ください

全国的な米の民間在庫量の増加や新型コロナウイルス感染症の拡大が米の需給に与える影響が不透明なため、需要に応じた生産に向けた取り組みの更なる強化をお願いします。

水田活用米穀について、近年は特に県内養鶏業者の飼料用米需要に対する生産が不足しています。水田活用米穀の申請期限に向け、取り組みの拡大をご検討願います。

●新規需要米商品化事例

耕畜連携
広島こめたまご



③ 主食用米の需要に応じた生産・販売の取り組み

(1) 生産地と消費地を結ぶ「JAの結び米」

○産地・地域の特徴や生産者の特色ある取り組みや“こだわり”を商品化し、生産者と消費者の結びつを強化します。

○現在では、20種類以上の結び米を商品化しており、生協や量販店をはじめ業務用の取引先とも連携した取り組みとして注目されています。



(2) 3-Rの取り組み

○令和元年度から、「SDGs」(持続可能な開発目標)に向けた活動の一環として、耕畜連携資源循環ブランド「3-R(さん・あー)」商品を、とれたて元気市をはじめ県内の産直市で発売しています。

○この取り組みは、JA全農ひろしまが定めた要件を満たした農畜産物や加工品を3-R商品として認定しています。米は精米2商品、加工食品2商品をブランド認定し販売しています。



(3) ひろしま米のブランド力向上戦略

○令和2年度から、より広域的な取り組みとして、地産地消の考えのもと広島県民米「あきろまん」のブランド力向上をすすめています。

○生産から販売まで基準(栽培基準や品質基準等)を設け、更に品種の歴史や特性等にも着目し、ひろしま米のブランド力を高める取り組みを強化します。

■ JA全農ひろしまホームページ <https://www.jazhr.jp/>

※トップページから、「広島」の農畜産物 ⇒ 「広島のお米」と
お進みください。

ひろしま米

検索

JA全農ひろしまは、今後も広島県内のお米や産地の魅力を発信していきます。

《3-Rの取り組みについて》

持続可能な開発目標(SDGs)につながる取り組みとして、「3-R」商品の取り扱いを拡大し、下記の産直市で販売しています。ぜひお立ち寄りください。

2019年8月からJA交流ひろばとれたて元気市広島店からスタートした「3-R(さんあーる)」は、
 耕畜連携をキーワードに品目ごとの要件を満たした広島県産の農畜産物や、その加工品を、全農
 ひろしまが認定するブランドです。 ※「3-R」とはRecycling・Resource・Repeatの頭文字を表します。

●とれたて元気市 広島店(広島市安佐南区大町東2丁目14-12)



- 営業時間:9:00~18:00
- 定休日:盆・年末年始休業の場合あり

〈河野店長コメント〉

ふるさとを守ることにつながる良い取り組みだと思います。商品に物語があり、試食・説明をするとお客様の反応も良く、ブランドを大事にしています。

●とれたて元気市 となりの農家店(東広島市西条町寺家7957-1)



- 営業時間:9:00~18:00
- 定休日:盆・年末年始休業の場合あり

〈東店長コメント〉

3-Rが導入されたことによって販売形態にバリエーションが出ました。生産者の刺激にもなっていて消費者の選択肢も広がり、相乗効果が生まれています。

●よりん菜(廿日市市地御前 1丁目22-30)



- 営業時間:9:00~18:00
- 定休日:日曜日・盆・年末年始

〈JA佐伯中央 小松課長コメント〉

令和2年4月4日に新築移転オープンしました。地元の野菜を中心に販売し、新たに全農が推奨する耕畜連携資源循環ブランド「3-R」商品の取り扱いも始めました。ぜひお越しください。

●ベジパーク安芸高田(安芸高田市吉田町山手1944-1)



- 営業時間:8:30~18:00
- 定休日:1月1日~1月4日

〈小田店長コメント〉

3-R商品をPRすることで、耕畜連携の取り組みをお客様に認知していただき、地元の生産者が作った商品をぜひ召し上がっていただきたいです!

生産者の声

3-R「資源循環野菜」生産者 中谷道宣さん

耕畜連携という良い取り組み。今後さらに発展させ、生産者のやりがいやプライドとなるようなブランドに育ってほしいです。

私たちが3-Rで伝えたいこと

資源循環型農業をすすめることで、地域の資源を守り、「地産地消」のその先のプラットフォームを目指します。生産者の取り組みを付加価値として消費者に伝える活動をさらに広がっていきます。

〈お問合せ先〉直販課／藤田:TEL.082-831-1131

園芸情報

① ほうれんそうの生産振興に向けた取り組み

広島県では、平成5年頃からほうれんそうの作付面積は減少しつつあります(図1)。一方、近年は新規就農者向けの品目として注目され、周年栽培に取り組む生産者も増えてきています。

こうした現状を踏まえて、広島県園芸振興協会を中心として、ほうれんそうの栽培から収穫・調整作業までの機械化一貫体系の構築に向けた検討を進めています。

令和2年5月9日(土)には、JA広島市管内(安芸太田町)の生産者圃場で収穫機の実演会を実施しました(画像1)。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実演会開催を広く周知することはできませんでしたが、収穫作業時間の短縮に効果があることを確認することができました。

令和2年度も引き続き機械化一貫体系に向けた検討を行い、広島県内のほうれんそうの生産振興に取り組みます。

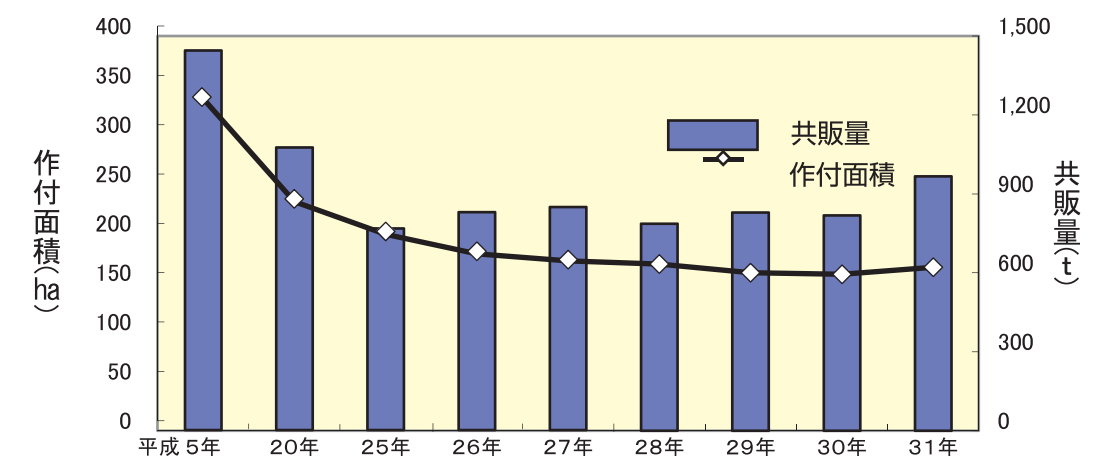


図1:ほうれんそう作付面積と共販量の推移

※広島県園芸振興協会「ほうれんそう栽培の手引き」より抜粋



画像1:ほうれんそう収穫機実演の様子(5月9日、安芸太田町)

〈お問合せ先〉園芸課／神田:TEL.082-846-4708

② 青果物の販売経過および情勢

◆青果物 令和2年5月の販売経過

※金額は全て税抜

2020年(令和2年)5月の日本の天候は、全国的に気温が高く、北・東・西日本でかなり暑くなりました。沖縄・奄美では降水量がかなり多く、日照時間は少なくなりました。

そのような中、JA全農ひろしまの青果物の取り扱い(令和2年5月末累計)のうち、卸売市場仕向けについては、4月後半の低温による数量減も、GW明けの好天と気温上昇で多くの品目で増量し、出荷重量1,553t(前年比99%)、販売金額664百万円(同102%)、単価は428円/kg(同103%)で推移しています。

■全農広島県本部の販売状況(令和2年4月～5月累計)

※速報値

	数量		金額		単価	
	(t)	前年比	(千円)	前年比	(円/kg)	前年比
野菜合計	1,553	99%	664,835	102%	428	103%
青ねぎ	358	97%	157,614	107%	440	111%
アスパラガス	88	91%	123,409	83%	1,402	91%
トマト	256	94%	103,704	93%	404	100%
小松菜	243	119%	63,284	157%	260	132%
ほうれんそう	138	98%	56,719	107%	411	109%
きゅうり	191	91%	43,088	112%	226	123%
豌豆	39	108%	34,539	112%	888	103%
わけぎ	45	76%	29,977	79%	672	104%
青梗菜	53	139%	14,991	149%	285	106%
その他葉茎菜類	31	82%	9,444	109%	307	134%
レタス	50	208%	9,101	232%	182	113%
きぬさや豌豆	5	100%	6,023	88%	1,143	82%
白ねぎ	11	367%	3,242	593%	282	135%
その他根菜類	6	50%	2,406	62%	387	116%
えのき茸	10	71%	2,343	80%	244	116%
ジャンボピーマン	4	133%	1,214	113%	342	97%
キャベツ	9	75%	810	87%	93	121%
生しいたけ	1	100%	765	94%	668	71%
その他	15	68%	2,162	74%	144	109%

※全農広島県本部の主要品目別市場出荷実績

◆5月単月の概況

【数量】

○品目では、小松菜(132%)、青梗菜(123%)、豌豆(105%)は、前年の5月単月を上回る出荷数量でした。

※()は前年比。

○5月は前月下旬の低温の影響が残ったものの、日中の気温上昇もあり野菜総体の出荷量は852tとほぼ前年並みで推移しました。少ない出回りが続いた果菜類も上中旬にかけて増量が目立ち、回復の兆しが見られました。

【金額・単価】

○5月単月の全体の平均単価は409円/kgとなり、前月の450円/kgよりも下がっています。

○5月単月の出荷量は前年と比較し、8トン減少しました。アスパラガス、わけぎや果菜類が減少したことが要因です。また、単月の販売金額は664百万円(前年比102%)で終了しました。

○根菜類・葉茎菜類・きゅうりの単価が前年同月比で高くなっています。また、トマト・豌豆・たまねぎ・きのこ類は単価が下がっています。

◆6月の見通し

(1) 入荷量の見通し

月の主要野菜(14品目)の入荷量は、平年並みの水準と見込まれます。

「平年を上回る」と見込まれるのは、ほうれんそう、きゅうりの2品目です。

「平年を下回る」と見込まれるのは、だいこん、にんじん、はくさい、キャベツ、青ねぎ、なす、ピーマン、ばれいしょ、たまねぎの9品目です。

「平年並み」と見込まれるのは、白ねぎ、レタス、トマトの3品目です。

(2) 卸売価格の見通し

6月の主要野菜(14品目)の卸売価格は、平年を下回る水準と見込まれます。

「平年を上回る」と見込まれるのは、キャベツ、ピーマンの2品目です。

「平年を下回る」と見込まれるのは、にんじん、ほうれんそう、白ねぎ、レタス、トマト、たまねぎの6品目です。

「平年並み」と見込まれるのは、だいこん、はくさい、青ねぎ、きゅうり、なす、ばれいしょの6品目です。

〈お問合せ先〉園芸課／^{かん だ}神田：TEL.082-846-4708

■ 品目別の入荷量・卸売価格の見通し(6月)

品目	入 荷 量			卸 売 価 格			(参考)前年6月の主産地シェア(%)
	前月比較	前年比較	平年比較	前月比較	前年比較	平年比較	
だいこん	ㇿ	=	ㇿ	=	=	=	広島(30)、山口(29)、長崎(13)
にんじん	=	=	ㇿ	=	=	ㇿ	長崎(72)、熊本(27)
はくさい	ㇿ	=	ㇿ	ㇿ	↗	=	長野(56)、大分(42)
キャベツ	=	ㇿ	ㇿ	ㇿ	↗	↗	愛知(24)、大分(17)、広島(16)、熊本(10)
ほうれんそう	=	=	↗	=	=	ㇿ	広島(96)
青ねぎ	=	=	ㇿ	ㇿ	=	=	広島(72)、大分(6)、愛媛(6)、福岡(5)
白ねぎ	ㇿ	=	=	=	=	ㇿ	鳥取(62)、大分(27)、輸入(8)
レタス	↗	=	=	ㇿ	ㇿ	ㇿ	長野(94)
きゅうり	ㇿ	=	↗	=	=	=	宮崎(29)、広島(20)、佐賀(19)、熊本(15)
なす	↗	ㇿ	ㇿ	ㇿ	=	=	福岡(64)、佐賀(17)、熊本(10)
トマト(ミニトマトを除く)	=	=	=	ㇿ	↗	ㇿ	熊本(35)、広島(27)、島根(21)
ピーマン	ㇿ	=	ㇿ	ㇿ	↗	↗	大分(31)、宮崎(26)、高知(14)、輸入(12)
ばれいしょ	ㇿ	=	ㇿ	ㇿ	↗	=	長崎(76)、熊本(11)
たまねぎ	ㇿ	=	ㇿ	↗	ㇿ	ㇿ	佐賀(70)、山口(11)、広島(7)
計	=	=	=	ㇿ	=	ㇿ	

注:「平年」とは、過去5か年の平均値。

※この資料の内容は、令和2年5月25日現在で見込んだものであり、今後の気象条件の変化等により変動があり得る。

※主要野菜の入荷量及び卸売価格の見通しのコメント及びグラフは令和2年5月29日中四国農政局園芸特産課の発表内容による。

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の入荷量の推移

品 目	3月上旬		3月中旬		3月下旬		4月上旬		4月中旬		4月下旬		5月上旬		5月中旬	
	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比
だいこん	243	66%	242	74%	322	92%	298	86%	250	66%	241	68%	204	77%	255	72%
にんじん	170	84%	142	70%	171	87%	221	115%	229	86%	225	86%	189	93%	181	71%
はくさい	300	89%	270	82%	294	86%	289	98%	227	77%	214	77%	193	77%	175	67%
キャベツ	516	88%	498	81%	613	95%	511	87%	494	79%	505	83%	501	80%	547	84%
ほうれんそう	46	61%	46	75%	54	92%	44	84%	45	93%	49	111%	45	110%	59	115%
青ねぎ	38	77%	40	84%	44	85%	43	92%	43	85%	48	105%	42	99%	44	87%
白ねぎ	49	92%	46	96%	45	94%	37	103%	42	126%	34	113%	33	119%	29	103%
レタス	165	83%	151	70%	185	77%	165	80%	167	81%	146	68%	197	89%	205	78%
きゅうり	166	95%	159	84%	244	107%	185	79%	257	109%	268	104%	282	106%	245	88%
なす	48	70%	58	91%	77	108%	57	77%	58	63%	78	99%	88	96%	85	95%
トマト(ミニトマトを除く)	92	91%	86	99%	119	92%	102	85%	114	86%	120	75%	153	88%	192	97%
ミニトマト	34	90%	39	99%	60	130%	48	108%	60	116%	60	113%	64	111%	78	114%
ピーマン	45	90%	44	85%	65	102%	54	88%	69	104%	62	94%	62	95%	62	80%
ばれいしょ	297	113%	187	76%	314	108%	234	90%	222	88%	303	126%	243	100%	211	67%
さといも	6	27%	5	29%	7	40%	9	70%	11	93%	12	129%	11	156%	5	81%
たまねぎ	413	86%	405	90%	688	121%	506	110%	483	91%	529	111%	306	104%	305	85%

単位：トン

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の卸売価格の推移

単位：円/kg

品 目	3月上旬		3月中旬		3月下旬		4月上旬		4月中旬		4月下旬		5月上旬		5月中旬	
	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比
だいこん	69	80%	66	84%	72	91%	82	107%	77	102%	107	148%	91	108%	68	91%
にんじん	160	110%	180	122%	189	123%	170	111%	119	77%	113	79%	107	81%	107	89%
はくさい	98	110%	92	94%	124	134%	146	163%	157	153%	199	229%	186	242%	98	124%
キャベツ	70	70%	67	77%	90	102%	109	112%	143	139%	164	150%	163	140%	123	122%
ほうれんそう	435	110%	422	108%	448	110%	469	109%	568	107%	471	85%	465	103%	358	76%
青ねぎ	513	89%	482	93%	483	107%	473	112%	492	115%	486	105%	497	93%	478	92%
白ねぎ	244	79%	248	83%	265	85%	327	108%	358	102%	351	96%	410	100%	352	79%
レタス	144	77%	149	93%	187	123%	191	114%	208	118%	209	118%	183	101%	119	83%
きゅうり	354	104%	334	101%	279	103%	325	140%	268	101%	209	91%	173	83%	182	79%
なす	432	111%	432	108%	410	108%	444	119%	464	133%	452	116%	404	108%	363	98%
トマト(ミニトマトを除く)	415	103%	446	107%	448	113%	444	117%	381	104%	354	109%	312	102%	240	86%
ミニトマト	714	104%	734	103%	678	105%	645	111%	597	104%	518	98%	458	101%	319	79%
ピーマン	695	111%	666	109%	650	123%	641	144%	654	156%	637	148%	620	147%	440	128%
ばれいしょ	99	64%	114	72%	140	87%	176	100%	203	106%	183	86%	187	96%	192	105%
さといも	232	95%	198	82%	197	88%	250	109%	255	102%	294	102%	267	89%	365	92%
たまねぎ	82	76%	75	67%	65	60%	63	59%	58	53%	45	40%	46	45%	46	44%

資料:「広島市中央卸売市場日報」

注:平年比70%以下及び130%以上の数値に色を付けています。

月別の天候

【令和2年5月25日】 気象庁発表

6月

- ・北日本と東日本日本海側では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
- ・東日本太平洋側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
- ・西日本では、前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
- ・沖縄・奄美では平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

7月

- ・北日本と東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
- ・東日本太平洋側と西日本では、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- ・沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

8月

- ・北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- ・東・西日本では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

〈お問合せ先〉園芸課／^{かん だ}神田:TEL.082-846-4708

営農支援情報

① ICT技術を利用した鳥獣害対策

野山に生息する動物の動きも活発となる季節が近づいてきました。イノシシやシカによる食害に悩まれている方も多いかと思います。JA全農ひろしまでは、株式会社アポロと連携し、一昨年からICT技術を用いた箱罠の効果について試験をしていますのでご紹介します。

●仕組み

- ①イノシシ・シカ等が箱罠に近づくとカメラのセンサーが感知し、携帯電話に映像が送られる。
- ②その映像を見ながら、檻落とし装置のボタンを最適なタイミングで押すことで捕獲する。

※携帯電波を利用して、カメラや檻落とし装置を遠隔操作



●装置の説明



← コントロールボックス

遠隔操作するための制御盤とバッテリーです。赤外線カメラの動作タイマーや、檻落とし装置の制御をするためのものです。

ソーラーパネル →

日当たりの良いところではソーラーパネルによる給電も可能です。



← 赤外線モーションセンサーカメラ

タイマー機能付きの赤外線カメラです。モーションセンサー機能があるため、動物の動きを感知してアプリ上で携帯端末へ知らせます。

檻落とし装置 →

仕組みは蹴り糸と同様です。アプリ上で落とす指示が入ると、装置内の電磁石が機能し、糸を引っ張る仕組みになっています。



広島県内では、北広島町、瀬戸田町にて生産者のご協力のもと、試験を行い、効果を検証中です。アプリ上で遠隔操作ができることによって、家にいながら罠の様子を確認することができます。夜間に現れるイノシシの様子を観察しながら、複数頭を同時に捕獲したり、親イノシシを捕獲することで頭数を効果的に減らすことが期待できます。行動を観察することができるので、出現する方向や時間帯、好んで食べる物が何かを把握することにもつながります。



また、最も効果的に遠隔操作を活用するには、複数頭を同時に確保できる罠と組み合わせることが有効です。

農作物被害を減らすために地域でICT技術を用いた鳥獣害対策を検討してみませんか。

← 夜間遠隔カメラに映るイノシシの様子

※アプリ上でリアルタイムに確認できます。

② チャレンジファーム広島

野菜の新規就農者育成と生産振興を目指す「チャレンジファーム広島」の第2農場となる「チャレンジファーム広島・上下農場」が3月18日に開所しました。この「上下農場」ではアスパラガスを中心とした模擬経営研修を行い、新たな担い手の育成を行います。また、模擬研修では、栽培技術の習得だけでなく、実際に収穫した農産物の販売や、経営手法も学んでもらい、営農計画を着実に実践できるよう研修を行います。皆様の周辺にも、農業に興味がある人がいらっしゃれば、是非、お近くのJAまでご連絡ください。

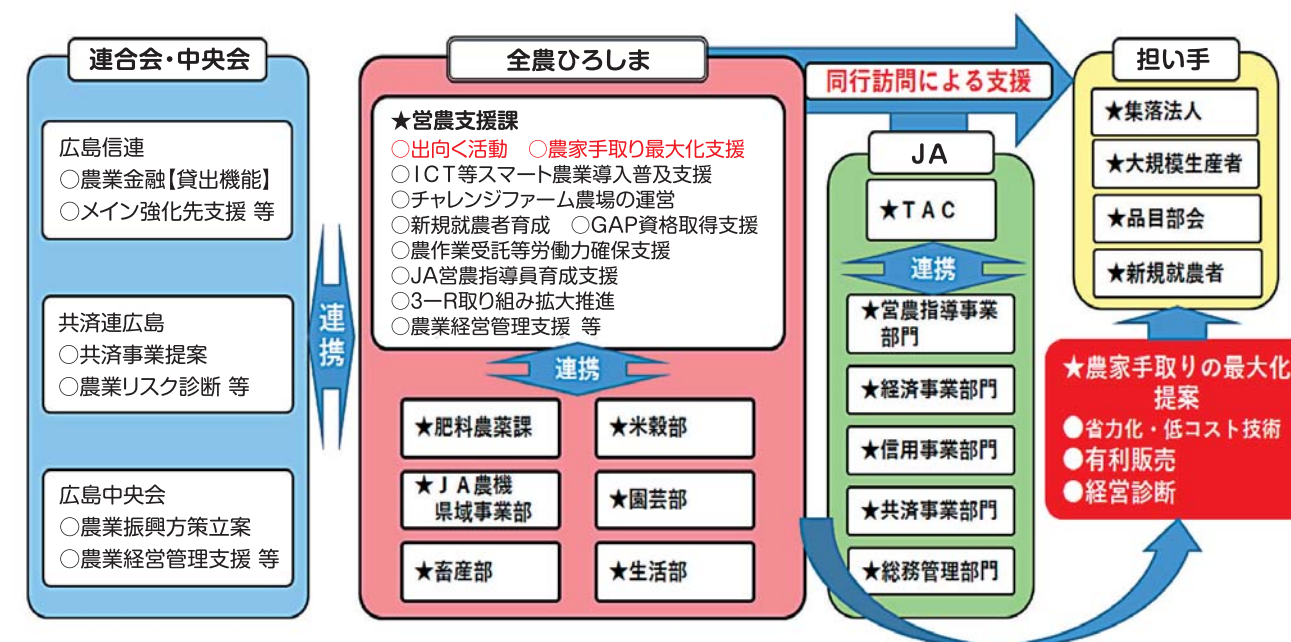


③ 営農支援課の新設

JA全農ひろしまは、令和2年度の機構改革を実施し、「営農支援課」を新設しました。JA広島中央会の旧「広島県JA営農支援センター」の担い手支援業務を、JA全農ひろしまへ移管。

今後、さらにJAと連携し、各種情報提供を積極的に行うことで、農家手取りの最大化を通じた経営改善提案に取り組みます。

《JAグループ広島が実施する担い手支援イメージ図》



〈お問合せ先〉 営農支援課／平岡：TEL.082-846-4706

肥料・農薬情報

① 暑い夏をのりこえる！水稻の高温障害対策にはケイ酸吸収が重要！

高温障害によって、白未熟粒（玄米の全体あるいは一部が白く濁った未熟粒）が発生します。出穂後20日間の日平均気温が26～27℃を超えると著しく発生することがわかっています。

このような高温条件下でも登熟を良くするために実践されているケイ酸施用技術をご紹介します。

●高温障害の発生要因と品質低下を軽減する仕組み

白未熟粒の発生
↓
籾に転流する光合成産物量の減少

高温障害の
ストレス軽減

高温障害に対する
ケイ酸の効果

その他、助長する要因

- (1)日照不足
- (2)根の活力低下や根量不足による吸水能力低下
- (3)稲体の葉色の低下（葉身の窒素含有率の低下）

- 光合成促進
- 根の活力向上
- 稲体の水分維持
- 下葉の老化防止

●幼穂形成期以降にしっかりとケイ酸を吸収できる環境づくりが大切

右図のとおり、水稻は幼穂形成期以降にケイ酸をもっとも吸収します。また、土壌のケイ酸供給量の違いによって水稻のケイ酸吸収速度に差がでてくるのは幼穂形成期以降で、水稻のケイ酸吸収速度は幼穂形成期から成熟期まで、土壌のケイ酸供給力が高いほど高まり、収量が多くなります。

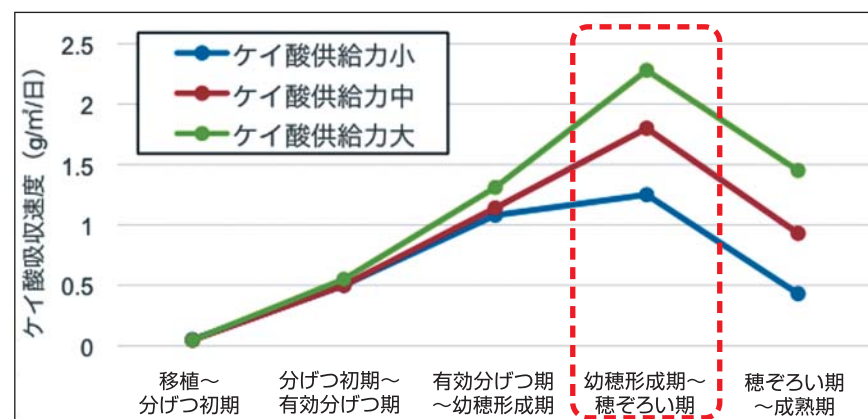


図 土壌のケイ酸供給力の違いとケイ酸吸収
(参照) 森ら(2008)「日本土壌肥料科学雑誌79」

けい酸加里 プレミアム34 (粒状・20kg袋)	ウォーターシリカ (粒状・15kg袋) 省力「水口置くだけ 施用法」	KSK28 (液体・1.4kg、 4.2kg、14kg規格) 「ドローン散布可」
く溶性加里20%・可溶性ケイ酸34%・ く溶性クド4%・く溶性ホウ素0.1%	可溶性ケイ酸17%	水溶性加里17%・可溶性ケイ酸28%
根酸によって溶け出すく溶性加里と 可溶性ケイ酸のダブルの効果で生育 向上する。効率よく長く効くのが特 徴。	水に溶けるケイ酸主体。網目袋に肥 料を入れ、水口にコンテナ等を深めに 固定。網目袋の肥料に直接流入水が 当たるように設置する。	液体タイプ。ドローンでの茎葉散布も 可能。アルカリ資材のため農薬との混 用不可。
20～40kg/10a	15kg/10a	ドローン：1.4kg/10aを2倍希釈
中干し前（出穂45～35日前）	中干し後の入水期に水口に水が 当たるよう設置。ゆっくりと溶ける。	幼穂形成期以降に1.4kg/10aを散布。

② 良質米栽培に向けて本田防除を徹底しましょう！

令和元年産の水稻栽培において、トビイロウンカが多発生しました。県内各地の圃場でトビイロウンカの被害による「坪枯れ」が多発し、収量や品質の低下がみられました。（令和元年8月9日付で広島県より注意報が発令されました）

現時点では令和2年産でどのような病害虫の発生が多く発生するか予測は難しいですが、主要な病害虫の防除を徹底して、収量・品質が維持できるようにしましょう。



写真 1. トビイロウンカ成虫・幼虫



写真 2. トビイロウンカの被害（坪枯れ）

●問題となる主要病害虫における防除のポイント

①いもち病

発病前の予防散布がポイント。広島地方気象台発表の3か月予報(5/25発表)によると**7月の前半は、雨の日が多い予報**です。しとしと雨が長時間続くときに多く発生する傾向がありますので注意が必要です。

②紋枯病

穂ばらみ期の薬剤散布で対策しましょう。特に密植栽培、多肥栽培などでは茎数が多く**株間が接近している場合は注意**が必要です。（あきさかり等の分けつが多い品種は特に注意しましょう）

③ウンカ類

ウンカ類は**早期防除**が大切です。薬剤はイネの**株元に十分かかるように散布**しましょう。

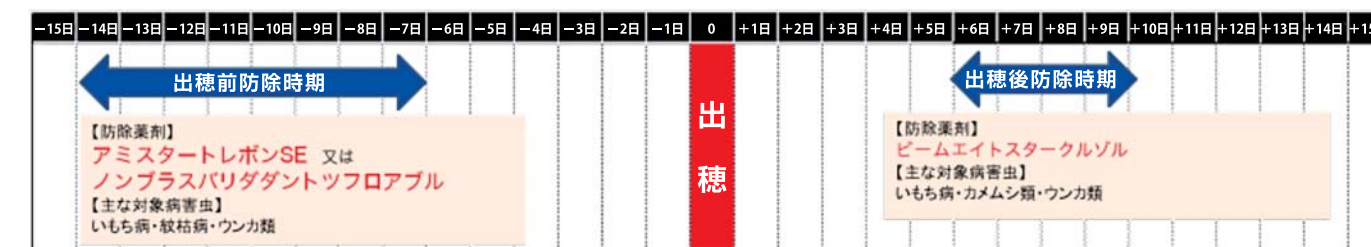
④カメムシ類（斑点米）

出穂期防除の徹底を心がけましょう。

●出穂前後の基幹防除について

出穂前後は病気や害虫が発生しやすい時期のため予防を第一に考えて防除に取り組みましょう。

本田防除の薬剤には、粉剤・粒剤・液剤・豆つぶ剤等の剤型がありますが、ここでは、「無人ヘリ」や「ドローン」で散布できて、面積当たりの薬剤コストを削減できる液剤をご紹介します。



出穂前（穂ばらみ期）防除		出穂後（穂揃い期）防除
アミスタートレボンSE 【大型規格】 5L(5ha分) 20L(20ha分) 【適用病害虫】 いもち病、紋枯病 カメムシ類、ウンカ類 ツマグロヨコバイ 【登録使用時期】 収穫14日前まで	ノンプラスバリダントツフロアブル 【大型規格】 10L(10ha分) 【適用病害虫】 いもち病 紋枯病 ウンカ類 カメムシ類 【登録使用時期】 収穫14日前まで	ビームエイトスタークルゾル 【大型規格】 10L(10ha分) 【対象病害虫】 いもち病 ウンカ類、カメムシ類 ツマグロヨコバイ 【登録使用時期】 収穫7日前まで

＜お問合せ先＞ 肥料農薬課／豊田：TEL.082-846-4705



農業機械情報

① 共同購入トラクタの取り組み

(1) 第1弾共同購入トラクタの生産終了について

JAグループでは共同購入トラクタの取り組みを進めていますが、第1弾共同購入トラクタ(YT357(ヤンマー製・60馬力))の受付が令和2年11月末をもって終了となります。

購入を検討されている方はお近くのJA農機センターまでお問合せください。



(2) 第2弾共同購入トラクタの取り組みについて

今年度発売予定の第2弾共同購入トラクタ(中型)について、新型コロナウイルス感染対策の影響により、スケジュールが変更となりました。

当初予定していた令和2年7月の製品情報及び価格情報のご案内及び10月の出荷時期が延期となります。今後の取り組みについては、JA全農ひろしまホームページ(<http://www.jazhr.jp>)等をご覧ください、JA農機センターまでお問合せください。

② 特定農機具傷害共済(ケアフル)の取り組み

JAグループでは令和2年4月から、新品で特定の農機具(乗用トラクタ・コンバイン・田植機)を購入された方が、5年間無料で商品付帯型共済に加入できる取り組みを始めました。ご購入された農機具の使用または管理上で起きた事故により、死亡または負傷された場合に共済金をお支払いします。詳しくはお近くのJA農機センターまでお問合せください。

(注)5年間の期間満了後は、共済掛金をご自身で負担いただくことで引き続き利用できます。その際はJAの共済窓口にてお手続きください。〈図1参照〉(提供:JA共済連広島)

③ 熱中症対策

農作業中の熱中症による死亡事故は毎年発生しており、特に7～8月に屋外で作業を行うときに多く発生しています。また、ビニールハウス内での作業中に熱中症による死亡事故も発生しています。

農業従事者の中には熱中症の具体的な症状がわからず、知らず知らずのうちに熱中症にかかっていることがあります。特に高齢者は脱水しやすいため、こまめな水分・塩分補給を心がけてください。周囲の方が協力して声掛けを行う等、今年も暑い夏を乗り切りましょう。

〈図1〉

特定農機具傷害共済
(商品付帯)

ケアフル

JA(JA全農経由)にて新たに購入いただいた農機具(乗用トラクター・田植機・自脱型コンバイン・普通型コンバイン)には傷害共済がセットされています。農機具の使用、または管理によって起きた傷害事故を保障します。

例えば

トラクターに乗っていて、トラクターが転倒し足を骨折した場合。



共済期間
5年

共済掛金は必要ありません。
(初回のみ)

初回共済掛金はJAグループが負担しています。



共済金の種類	お支払い事由	お支払いする額
		死亡共済金額200万円※ 部位・症状別治療共済金額1,500万円の場合
死亡共済金	災害にあわれた日以後その災害により200日以内に死亡されたとき	200万円
後遺障害共済金	災害にあわれた日以後その災害により200日以内に「後遺障害等級表」にかける後遺障害の状態になられたとき	程度に応じて 100万円～5万円
重度後遺障害費用共済金	災害にあわれた日以後その災害により200日以内に「重度後遺障害等級表」にかける重度後遺障害の状態になられたとき(災害にあわれた日以後30日以内に死亡された場合を除きます。)	程度に応じて 20万円もしくは10万円
部位・症状別治療共済金	災害にあわれた日以後その災害により200日以内に入院をされたとき、または入院をされなかった場合で5日以上通院をされたとき	部位・症状に応じて (部位・症状別治療共済金額×5倍～120倍) 7,500円～18万円
	災害にあわれた日以後その災害により200日以内に入院をされなかった場合で5日未満の通院をされ、治療または施術が完了したとき	(部位・症状別治療共済金額×2倍) 3,000円

●共済金のお支払事由は、いずれも共済期間内に発生した災害を直接の原因とするものに限ります。
●「災害」とは、急激かつ偶発的な外來の事故による被害をいいます。ただし、所定の事故による被害を除きます。
●1回の事故にかかる死亡共済金と後遺障害共済金の合計額は、死亡共済金額が限度となります。
●死亡共済金は、死亡の原因となった災害と同一の災害による後遺障害共済金を既に支払ったまたは請求を受けた場合は、死亡共済金の額から既に支払ったまたは請求を受けた額を控除した残額をお支払いします。
●「入院」や「通院」には、それぞれ医師または歯科医師による治療の他に、柔道整復師による施術やあんま・マッサージ・指圧師、はり師もしくはきゅう師による施術も対象となる場合があります。

※共済金額は各都道府県によって異なりますので、農機具を購入したJA等にご確認ください。

充実の保障です

ご購入いただいた農機具の使用または管理によって起きた事故により、死亡されたり、負傷されたりした場合に共済金をお支払いします。



シールのご説明

JAもしくは(株)全農アグリサポート広島にて新たに農機具を購入された際に配布される「特定農機具傷害共済(ケアフル)」のチラシに、あなたの特定農機具傷害共済契約の有効期限をお知らせするためのシール(下のイメージ参照)が添付されています。共済契約の期間満了日となっているかご確認のうえ、農機具本体の目につきやすい場所に貼ってください。なお、共済期間が満了する際には、引き続き特定農機具傷害共済にご加入いただくことをおすすめします。詳細については、JA窓口もしくは農機具取扱員にご相談ください。



共済期間満了後は

JAの共済窓口で引き続き、特定農機具傷害共済へのご加入をおすすめします。また、その際の共済掛金をご負担いただくことになりますので、あらかじめご承知ください。



チラシ番号:20349990131

〈お問合せ先〉農業機械課／くにひろ 国弘:TEL.0824-62-3103